

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づく令和6年度の実施状況について

横浜市脱炭素社会の形成の推進に関する条例に基づき、
人事委員会事務局の2024（令和6）年度施策の実施状況等について報告します。

基本方針6 市役所の率先行動

（1）事業の実績と取組など

- ・ 所管施設、一般公用車の所有はないため、温室効果ガス排出量や太陽光発電設備の導入等の実績はありません。
- ・ 採用試験業務の取組として、一部試験で導入していた採用管理システムについて、2024年度から全採用試験・選考に展開し、これまで郵送していた合格通知等の書類のデジタル化を図りました。

<温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の状況>

上段：実績、下段：削減率（基準年度比）

主な指標	基準値 (2013年度)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス排出量[万t-CO2]	—	—	—	—	—
エネルギー消費量[TJ]	—	—	—	—	—

<対策の取組状況>

主な指標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
LED等高効率照明の導入	—	—	—	—
太陽光発電設備の導入	—	—	—	—
一般公用車における次世代自動車等導入	—	—	—	—

（2）職員の取組

クールビズ・ウォームビズの実施、グリーン購入の推進、パソコン等を活用した説明によるペーパーレス化の推進を行いました。
また当局職員は、全職員を対とした環境研修を受講し、温暖化対策の取組に対する理解促進を図りました。